



FS Watch 機能 取扱説明書

第 2.1 版

当社に無断で本資料の掲載内容を転載することをご遠慮下さい。

©2018 FS Watch

はじめに

この度は、FS Watch 機能（以下、Watch 機能）をお買い上げいただき、誠に有難うございます。本書は、Watch 機能の取扱い方法について説明しています。

Watch 機能は、Flex Signal (*1)にて時計を使用して通知・管理することができる機能です。

(*1) Flex Signal の詳細については、Flex Signal 取扱説明書を参照して下さい。

目次

1. 画面説明	7
1-1. 用語	7
(1) IP アドレス	7
(2) 全体モニター	7
(3) 不正な文字	7
1-2. Watch 機能へのアクセス方法	8
(1) アクセス方法	8
1-3. ウォッチグループ設定	9
1-4. ウォッチ基本設定	11
1-5. ウォッチ通知設定	13
1-6. 表示確認	15
(1) 全体モニター画面	15
2. スマートウォッチ説明	16
2-1. 用語	16
(1) システムアプリ	16
(2) 通知	16
(3) 信号灯状態通知	16
(4) 対応通知	16

(5) 対応操作.....	16
2-2. スマートウォッチを起動する	17
(1) スマートウォッチの電源を投入する	17
(2) システムアプリケーションを表示する.....	18
2-3. 通知を確認する	19
(1) システムから信号灯の状態通知を受信する	19
(2) 他スマートウォッチの対応通知を受信する	21
(3) 信号灯の状態通知を確認する	23
2-4. 通知状態への対応を行う.....	24
(1) システムから信号灯の状態通知を受信する	24
(2) 表示状態に対応する旨を通知する.....	26
2-5. システムアプリ画面の非表示	27
2-6. スマートウォッチの電源を切る.....	28
(1) 設定画面を表示する	28
(2) システム画面を表示する	29
(3) スマートウォッチの電源を切る	30
2-7. ネットワーク設定を変更する。	31
(1) ネットワーク設定アプリケーションを起動する	31
(2) ネットワーク設定を保存する	33
2-8. 省電力のための推奨設定.....	34
(1) 画面の明るさの設定	34
(2) 「常に表示状態のディスプレイ」の設定	34

(3) 「傾けて画面を ON」 の設定.....	34
(4) 位置情報の設定.....	35
(5) Bluetooth の設定.....	35

1. 画面説明

1 - 1. 用語

Watch 機能の用語です。以後、本説明書では用語を使用して説明しています。

(1) IP アドレス

使用するウォッチの IP アドレスです。

(2) 全体モニター

「Flex Signal」でアンドン表示を行う画面です。

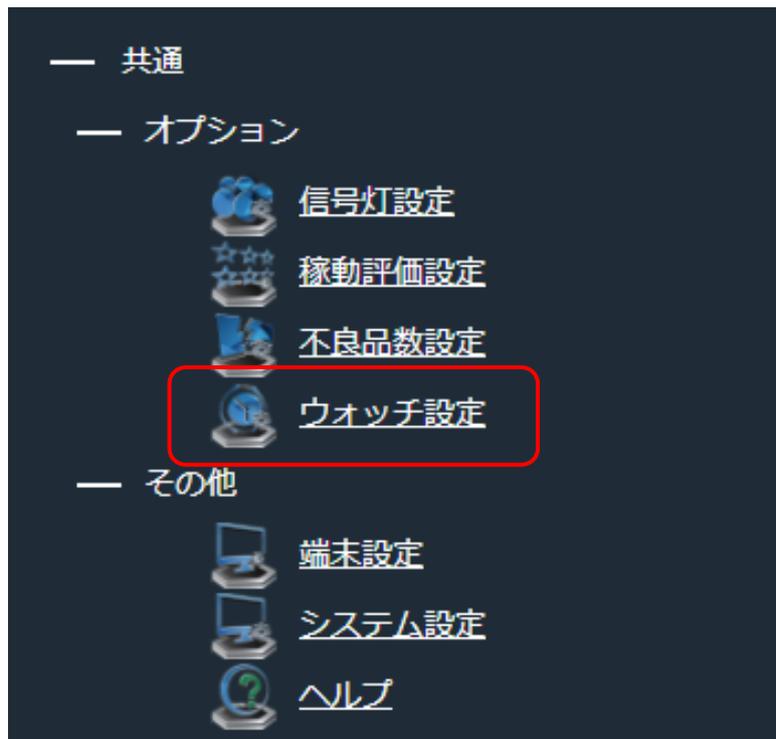
(3) 不正な文字

*;&"\$#@¥<> のいずれかを含む文字のことを指します。これらの文字は画面での文字入力において、使用することは出来ません。

1 - 2 . Watch機能へのアクセス方法

(1) アクセス方法

「FlexSignal」のページ上部にある「MENU」→「共通」→「オプション」→「ウォッチ設定」を選択します。



「図 1 : FlexSignal メニュー画面」

1-3. ウォッチグループ設定

ウォッチのグループ設定の登録、編集を行う画面です。

この画面では、グループ数とグループ名の登録、編集を行います。

※設定できるグループ数は最大10グループまでとなります。

※グループ名は空欄で登録できますが、グループ基本設定・グループ通知設定が登録できません。

※グループ削除は最後尾から消去されていきます。

The screenshot shows the 'Flex Signal' web interface. The top navigation bar includes 'MENU' and '稼働監視'. The left sidebar has three items: 'ウォッチグループ設定' (selected), 'ウォッチ基本設定', and 'ウォッチ通知設定'. The main content area is titled 'ウォッチグループ設定' and contains a form with the following elements:

- 'グループ総数' field with the value '3'.
- '追加' (Add) and '削除' (Delete) buttons.
- A table with the following data:

No.	名称
1	Aグループ
2	Bグループ
3	Cグループ

At the bottom of the form are '登録' (Register) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

「図 2 : ウォッチグループ設定」

「表 1 : ウォッチグループ設定説明」

No.	項目	説明
1	名称	グループ名を入力します。
2	追加	グループ数を追加します。
3	削除	グループ数を削除します。 通知設定で使用されているグループは、削除できません。
4	登録	ウォッチグループ設定内容を登録します。
5	キャンセル	ウォッチグループ設定内容の編集をキャンセルします。

1-4. ウォッチ基本設定

ウォッチの基本設定の登録、編集を行う画面です。

この画面では、グループ毎にウォッチの IP アドレス、名称の登録、編集を行います。

※IP アドレスを空欄にすると設定なし扱いになります。

※同一 IP アドレスを複数グループに設定することが可能です。

No.	IPアドレス	名称	削除
1	172.16.101.11	信号灯1	<input type="checkbox"/>
2			<input type="checkbox"/>
3			<input type="checkbox"/>
4			<input type="checkbox"/>
5			<input type="checkbox"/>
6			<input type="checkbox"/>
7			<input type="checkbox"/>
8			<input type="checkbox"/>
9			<input type="checkbox"/>
10			<input type="checkbox"/>

「図 3 : ウォッチ基本設定」

「表 2：ウォッチ基本設定説明」

No.	項目	説明
1	グループ選択	対象のグループを選択します。
2	IP アドレス	IP アドレスを入力します。
3	名称	ウォッチの名称を入力します。
4	追加	基本設定を追加します。
5	削除	チェックされている基本設定を削除します。
6	登録	ウォッチ基本設定内容を登録します。
7	キャンセル	ウォッチ基本設定内容の編集をキャンセルします。

1 - 5 . ウォッチ通知設定

ウォッチの通知設定の登録、編集を行う画面です。

この画面では、対象の信号灯毎に通知設定を行います。

Flex Signal

MENU 稼働監視

ウォッチグループ設定
ウォッチ基本設定
ウォッチ通知設定

Flex Signalのウォッチ通知設定を設定します。

ウォッチ通知設定 追加

No.	通知対象	信号灯詳細	グループ名	通知種別	振動タイプ	削除
1	Aライン 信号灯1	異常灯	A	対応通知あり	3秒振動	■
2	Aライン 信号灯2	異常灯	A	対応通知あり	長->短 * 3回振動	■
3	Aライン 信号灯3	異常灯	A	対応通知あり	3秒振動	■
4	Aライン 信号灯4	異常灯	A	対応通知あり	3秒振動	■
5	Aライン 信号灯5	異常灯	A	対応通知あり	3秒振動	■
6	Aライン 信号灯6	異常灯	A	対応通知あり	3秒振動	■
7	Aライン 信号灯7	異常灯	A	対応通知あり	3秒振動	■
8	Aライン 信号灯8	異常灯	A	対応通知あり	3秒振動	■
9	Aライン 信号灯9	異常灯	A	対応通知あり	3秒振動	■
10	Aライン 信号灯10	異常灯	A	対応通知あり	3秒振動	■
11		異常灯	A	メッセージ表示のみ	振動なし	■
12		異常灯	A	メッセージ表示のみ	振動なし	■
13		異常灯	A	メッセージ表示のみ	振動なし	■

登録 キャンセル 削除

「図 4 : ウォッチ通知設定」

「表 3：ウォッチ通知設定説明」

No.	項目	説明
1	通知対象	対象の信号灯を選択します。 通知を行わない場合は空白（初期設定）を設定します。
2	信号灯詳細	通知の対象となる信号灯の詳細を設定します。 異常灯に設定している信号灯を対象とする場合は「異常灯」、各構成色を対象とする場合は「構成色1～16」を設定します。
3	グループ名	通知対象のウォッチグループ名を選択します。
4	通知種別	通知の種類を選択します。 メッセージ表示のみ：メッセージと確認ボタンが表示されます。 対応通知あり：メッセージと対応ボタンが表示されます。
5	振動タイプ	振動の種類を選択します。 ・振動なし ・3秒振動 ・0.5秒 * 6回 ・長 -> 短 * 3回振動 ・連続
6	追加	通知設定を追加します。
7	削除	チェックされた通知設定を削除します。
8	登録	ウォッチ通知設定内容を登録します。
9	キャンセル	ウォッチ通知設定内容の編集をキャンセルします。
10	初期設定に戻す	ウォッチ通知設定初期値に戻します。

1-6. 表示確認

(1) 全体モニター画面

信号灯毎に対応中の表示を確認します。



「図 5 : 全体モニター画面」

2. スマートウォッチ説明

2-1. 用語

スマートウォッチ機能の用語です。以後、本説明書では用語を使用して説明しています。

(1) システムアプリ

スマートウォッチ上で動作する、Watch 機能を提供するアプリケーションです。

(2) 通知

Flex Signal からスマートウォッチに情報を送信することを表します。

(3) 信号灯状態通知

「ウォッチ通知設定」をもとに検知した、信号灯の状態をスマートウォッチに通知することを表します。

(4) 対応通知

スマートウォッチで「対応」操作を行ったことを、他スマートウォッチに通知することを表します。

(5) 対応操作

対応が必要な信号灯の状態に対し、スマートウォッチで「対応」操作を行うことを表します。

2-2. スマートウォッチを起動する

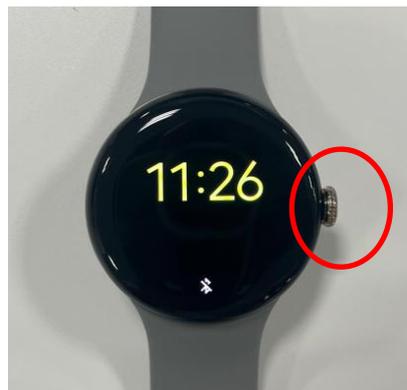
FSWatch の機能を利用するため、スマートウォッチの電源を投入します。

※電源投入後、システムアプリは自動的に起動します。

(1) スマートウォッチの電源を投入する

スマートウォッチ右側にある中央のボタンを長押しすると、スマートウォッチが起動します。

起動が完了するまで、しばらくお待ち下さい。

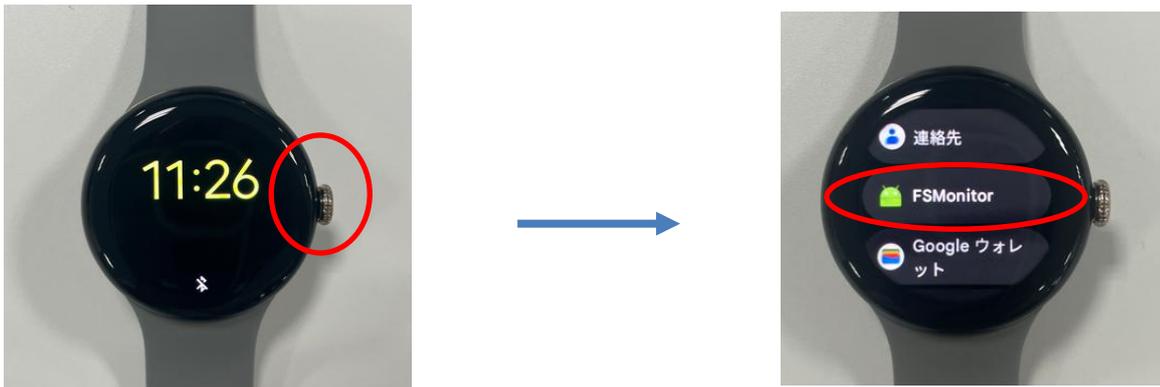


「図 6 : スマートウォッチ電源投入」

(2) システムアプリケーションを表示する

スマートウォッチの右側中央ボタン（電源投入時のボタン）を押下し、

アプリ一覧からシステムアプリ「FSMonitor」を選択します。



「図 7：システムアプリ起動後表示」

2-3. 通知を確認する

信号灯が「ウォッチ通知設定」で設定した状態になると、スマートウォッチに信号灯の状態が通知されます。

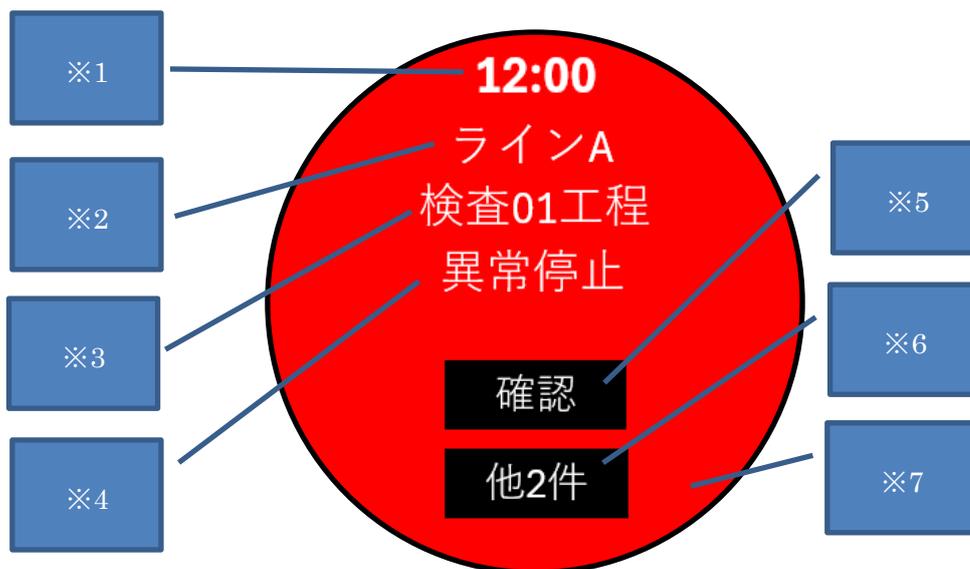
※「ウォッチ通知設定」の通知種別を「メッセージ表示のみ」に設定した場合のみ、

本章の画面が表示されます。

(1) システムから信号灯の状態通知を受信する

スマートウォッチは、受信した信号灯の情報をシステムアプリの画面に表示します。

※システムアプリ画面が非表示の場合、自動的に再表示を行います。



「図8：通知表示（メッセージ表示）」

「表 4 : 画面表示説明」

No.	項目	説明
1	現在時刻	現在時刻を表示します。
2	ライン名	Flex Signal の信号灯設定画面で設定した、 信号灯のライン名が表示されます。
3	信号灯名	Flex Signal の信号灯設定画面で設定した、 信号灯の名称が表示されます。
4	管理名称	Flex Signal の信号灯設定画面で設定した、 構成色の管理名称が表示されます。
5	確認ボタン	画面表示中の通知を確認します。
6	「他 n 件」ボタン	「他 n 件」ボタンをタップすることで、 通知をクリアすることなく他の通知内容を表示します。 n は表示されていない通知数を表示します。
7	背景色	Flex Signal の信号灯設定画面で設定した、 構成色の表示色が表示されます。

(2) 他スマートウォッチの対応通知を受信する

他スマートウォッチにて、後述の「対応」操作が行われた場合、

その旨に関する状態通知を受信・画面に表示します。



「図 9：通知表示（対応通知）」

「表 5 : 画面表示説明」

No.	項目	説明
1	現在時刻	現在時刻を表示します。
2	ライン名	Flex Signal の信号灯設定画面で設定した、 信号灯のライン名が表示されます。
3	信号灯名	Flex Signal の信号灯設定画面で設定した、 信号灯の名称が表示されます。
4	管理名称	Flex Signal の信号灯設定画面で設定した、 構成色の管理名称が表示されます。
5	対応時計名称	Flex Signal のウォッチ基本設定画面で設定した、 スマートウォッチの名称が表示されます。 ※対応操作を行ったスマートウォッチの名称が表示されます。
6	確認ボタン	画面表示中の通知を確認します。
7	「他 n 件」ボタン	「他 n 件」ボタンをタップすることで、 通知をクリアすることなく他の通知内容を表示します。 n は表示されていない通知数を表示します。
8	背景色	Flex Signal の信号灯設定画面で設定した、 構成色の表示色が表示されます。

(3) 信号灯の状態通知を確認する

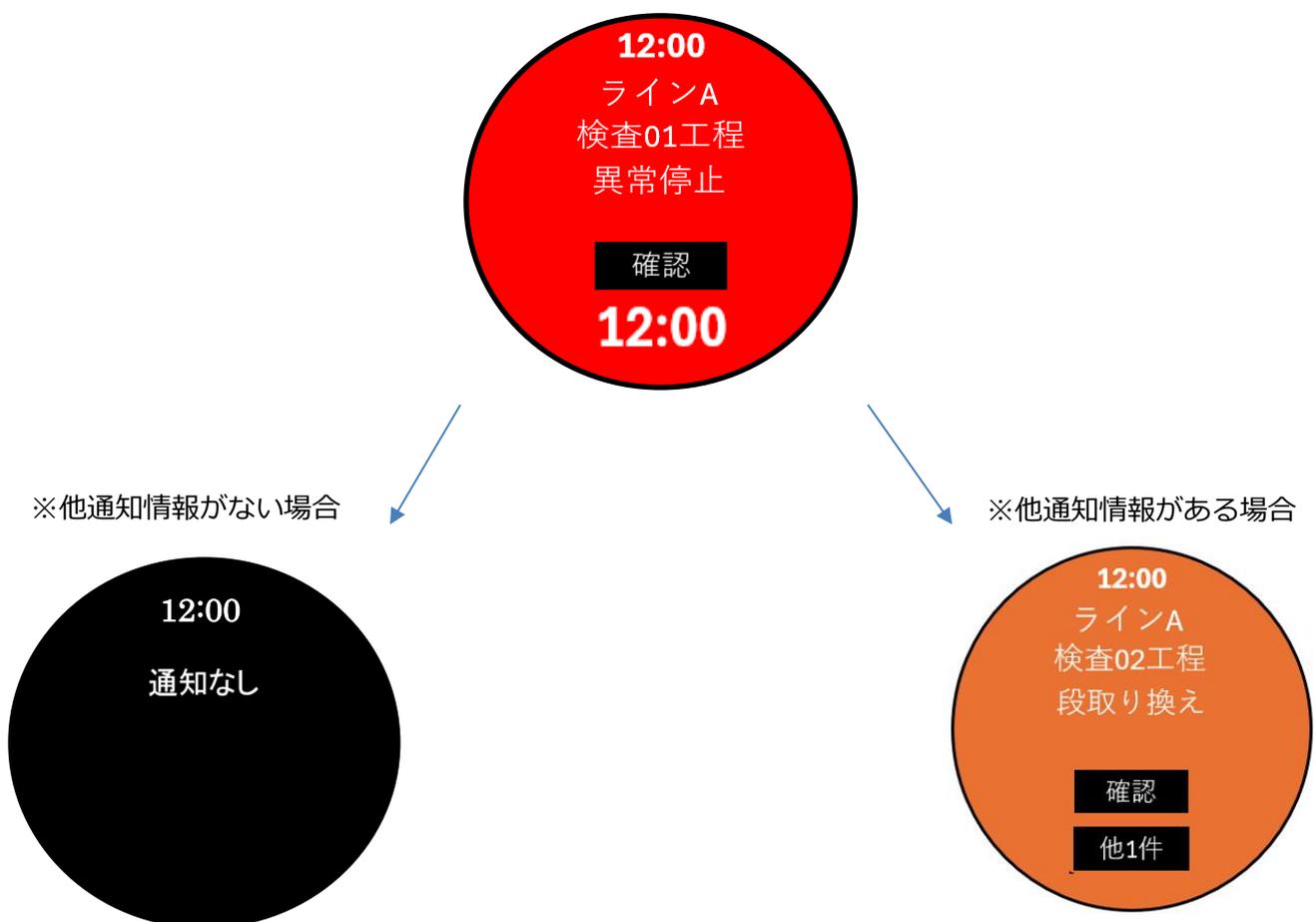
表示画面にある「確認」ボタンを押下することで、通知情報の確認を行います。

「確認」ボタン押下後、表示中の通知情報はクリアされ、「通知なし」メッセージを表示します。

※ほかの通知情報が存在する場合は次の通知情報を画面に表示します。

※信号灯がほかの状態に変化した場合、表示中の通知情報は自動的にクリアされます。

(確認ボタン押下と同様の動作)



「図 10：確認ボタン押下後の画面遷移」

2-4. 通知状態への対応を行う

信号灯が「ウォッチ通知設定」で設定した状態になると、スマートウォッチに信号灯の状態が通知されます。

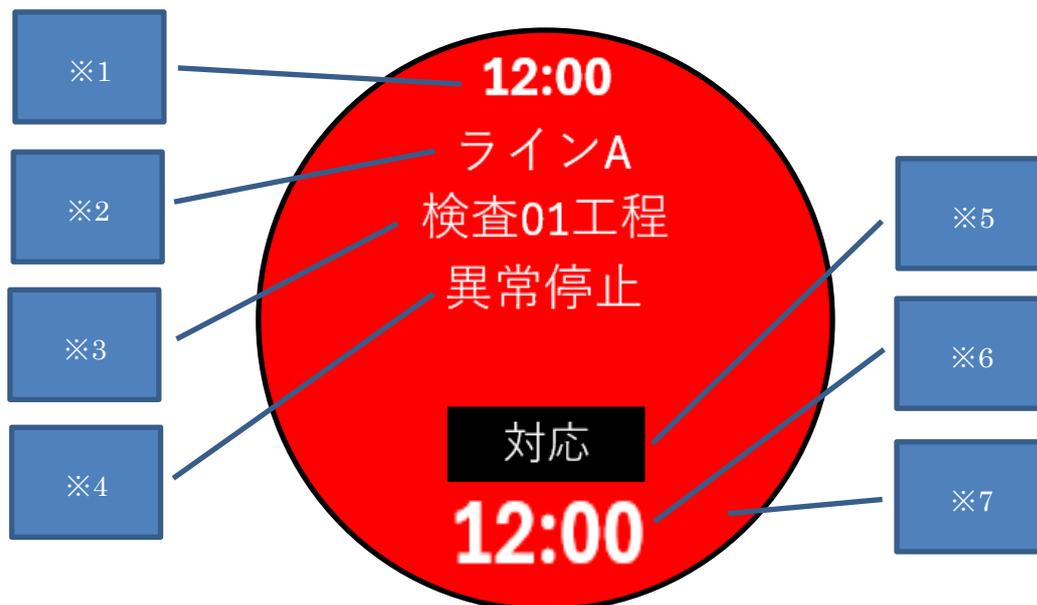
※「ウォッチ通知設定」の通知種別を「対応通知あり」に設定した場合のみ、

本章の画面が表示されます。

(1) システムから信号灯の状態通知を受信する

スマートウォッチは、受信した信号灯の情報をシステムアプリの画面に表示します。

※システムアプリ画面が非表示の場合、自動的に再表示を行います。



「図 11 : 通知表示 (対応通知あり)」

「表 6 : 画面表示説明」

No.	項目	説明
1	現在時刻	現在時刻を表示します。
2	ライン名	Flex Signal の信号灯設定画面で設定した、 信号灯のライン名が表示されます。
3	信号灯名	Flex Signal の信号灯設定画面で設定した、 信号灯の名称が表示されます。
4	管理名称	Flex Signal の信号灯設定画面で設定した、 構成色の管理名称が表示されます。
5	対応ボタン	画面表示中の状態に対応することを、 Flex Signal および他スマートウォッチに通知します。
6	「他 n 件」ボタン	「他 n 件」ボタンをタップすることで、 通知をクリアすることなく他の通知内容を表示します。 n は表示されていない通知数を表示します。
7	背景色	Flex Signal の信号灯設定画面で設定した、 構成色の表示色が表示されます。

(2) 表示状態に対応する旨を通知する

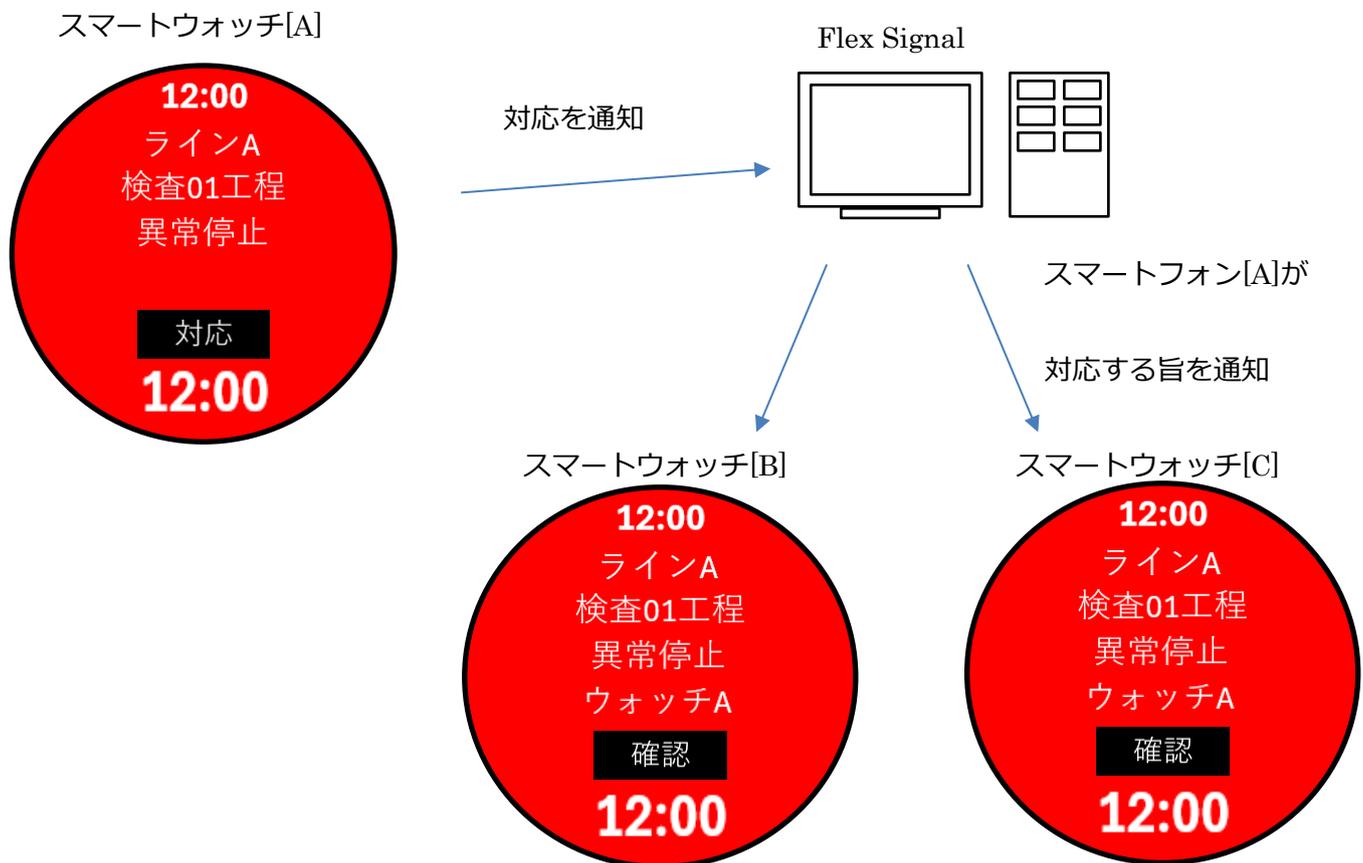
表示画面の「対応」ボタンを押下し、表示状態に対応することを

Flex Signal および他スマートウォッチに通知します。

「対応」ボタン押下後、表示中の通知情報はクリアされ、「通知なし」メッセージを表示します。

※ほかの通知情報が存在する場合は次の通知情報を画面に表示します。

※信号灯がほかの状態に変化した場合、表示中の通知情報は自動的にクリアされます。



「図 12 : 対応通知の流れ」

2-5. システムアプリ画面の非表示

スマートウォッチのシステムアプリ画面を非表示にした場合、信号灯の通知は受信できません。

また、その他のアプリを開いている場合でも、その他アプリを終了してスマートウォッチの

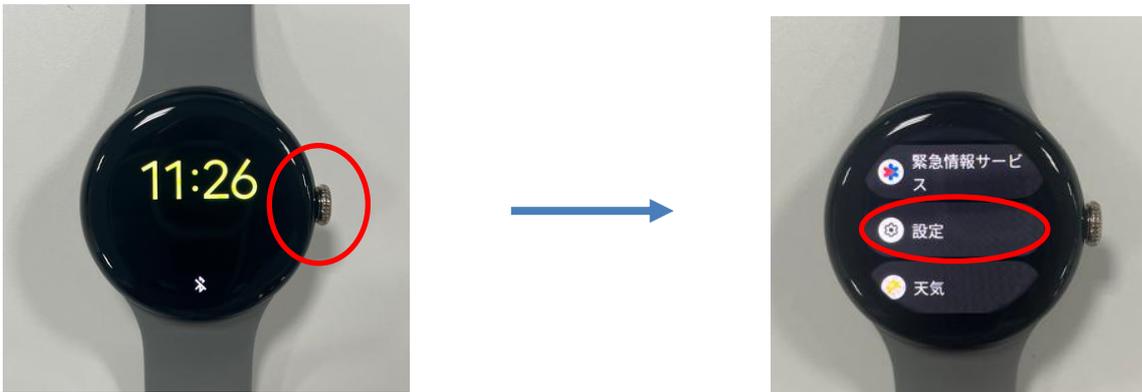
システムアプリを起動することで、再度、信号灯の通知を受け取ることができます。

2-6. スマートウォッチの電源を切る

システム画面より、スマートウォッチの電源を切ります。

(1) 設定画面を表示する

スマートフォン右側の中央ボタンを押下後、アプリ一覧から「設定」を選択します。



「図 14：設定画面の表示」

(2) システム画面を表示する

設定画面より、「システム」を選択します。



「図 15 : システム画面の表示」

(3) スマートウォッチの電源を切る

システム画面にて「電源 OFF」を選択し、スマートウォッチの電源を切ります。



「図 16 : 電源の OFF」

2-7. ネットワーク設定を変更する。

スマートウォッチの無線ネットワーク設定を変更します。

TicWatch Pro3 GPS、TicWatch E3 のみ FSNetworkSettingTool の使用が可能です。

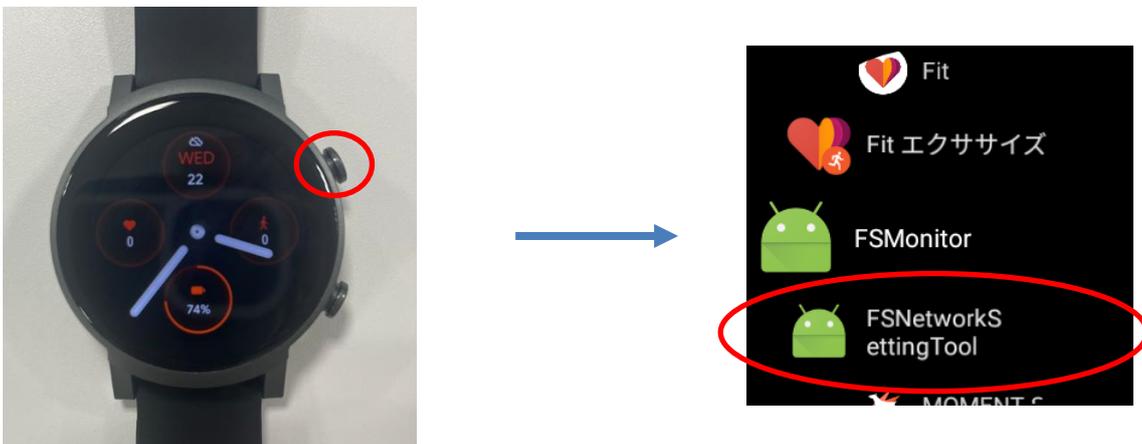
※Google Pixel Watch2、Galaxy Watch4 につきましては、FSNetworkSettingTool の使用が不可です。

FS-Watch 運用中にスマートウォッチの IP アドレスが変化した場合、通知を正常に受け取ることができないためルーターまたは、スマートウォッチの設定等で IP アドレスを固定していただくようお願いいたします。

(1) ネットワーク設定アプリケーションを起動する

スマートウォッチの右側中央ボタン（電源投入時のボタン）を押下し、

アプリ一覧からネットワーク設定ツール「FSNetworkSettingTool」を選択します。



「図 17：ネットワーク設定ツールの起動」

ネットワーク設定を変更する

ネットワーク設定ツールを起動後、変更したい項目のボタンを押下し、

各種ネットワーク設定を入力・変更します。



「図 18 : ネットワーク設定ツール画面」

(2) ネットワーク設定を保存する

各種ネットワーク設定を入力後、保存ボタンを押下しネットワーク設定を保存します。



「図 19 : ネットワーク設定の保存」

2-8. 省電力のための推奨設定

スマートウォッチのバッテリーを長持ちさせるための設定です。

※本設定を行わなくてもシステムの動作に影響はありません。

必要に応じて設定を行ってください。

(1) 画面の明るさの設定

- ① スマートウォッチの右側にある中央のボタンを押下し、アプリケーションの一覧から

「設定」－「画面」－「明るさ」を選択し、最小の値に変更します。

※明るさの自動調整：OFF

(2) 「常に表示状態のディスプレイ」の設定

- ① スマートウォッチの右側にある中央のボタンを押下し、アプリケーションの一覧から

「設定」－「画面」を選択し、「常に表示状態のディスプレイ」をOFFにします。

(3) 「傾けて画面をON」の設定

- ① スマートウォッチの右側にある中央のボタンを押下し、アプリケーションの一覧から

「設定」－「ジェスチャー」を選択し、「傾けて画面をON」をOFFにします。

(4) 位置情報の設定

- ① スマートウォッチの右側にある中央のボタンを押下し、アプリケーションの一覧から「設定」→「位置情報」を選択し、「位置情報の使用」を OFF にします。

(5) Bluetooth の設定

- ① スマートウォッチの右側にある中央のボタンを押下し、アプリケーションの一覧から「設定」→「接続」→「Bluetooth」を選択し、「Bluetooth」を OFF にします。

注意事項

1. バッテリー消費節約について

信号灯状態通知を表示中、振動などの各機能を提供するためバックライトを常時点灯させています。

そのため、システムアプリ画面の表示中はバッテリーの消費率が高くなります。

バッテリー消費節約のためシステムアプリ画面を一時的に非表示する場合、

「2-5.システムアプリ画面の表示・非表示」を参考にシステムアプリ画面を非表示にしてください。



〒451-0014 愛知県名古屋市中村区則武2丁目16番地1

ホームページ: <http://www.tokai-soft.co.jp/>